



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 白銅株式会社

上場取引所 東

コード番号 7637 URL <https://www.hakudo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	39,219	6.2	1,981	19.5	2,083	22.8	1,281	11.6
2020年3月期	41,798	7.6	1,658	26.3	1,697	27.3	1,148	26.6

(注) 包括利益 2021年3月期 1,446百万円 (40.9%) 2020年3月期 1,026百万円 (32.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	113.01		7.3	6.4	5.1
2020年3月期	101.27		6.8	5.2	4.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	33,115	17,869	54.0	1,575.56
2020年3月期	32,071	17,081	53.3	1,506.03

(参考) 自己資本 2021年3月期 17,869百万円 2020年3月期 17,081百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,127	552	657	5,924
2020年3月期	1,503	1,367	1,230	4,968

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		58.00	58.00	657	57.3	3.9
2021年3月期		0.00		58.00	58.00	657	51.3	3.8
2022年3月期(予想)		36.00		46.00	82.00		44.9	

(注) 2022年3月期 期末配当金(予想)46円の内訳 普通配当37円 創業90周年記念配当9円

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,700	32.9	1,410	141.8	1,480	140.0	1,020	138.2	89.93
通期	48,000	22.4	2,920	47.3	3,000	44.0	2,070	61.5	182.51

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	11,343,300 株	2020年3月期	11,343,300 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,377 株	2020年3月期	1,338 株
期中平均株式数	2021年3月期	11,341,951 株	2020年3月期	11,341,994 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	37,017	5.9	1,936	12.9	2,011	15.0	1,226	2.5
2020年3月期	39,345	10.5	1,715	27.3	1,748	25.1	1,195	23.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	108.12	
2020年3月期	105.45	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2021年3月期	32,356		17,659		54.6	1,556.98		
2020年3月期	31,485		17,016		54.0	1,500.29		

(参考) 自己資本 2021年3月期 17,659百万円 2020年3月期 17,016百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	22,300	32.9	1,370	132.5	930	128.3	82.00	
通期	45,100	21.8	2,800	39.2	1,910	55.8	168.40	

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(表示方法の変更)	13
(追加情報)	13
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 売上高

売上高は、前連結会計年度比6.2%減少し、392億1千9百万円となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な経済活動停滞の影響を受け、景気が悪化しました。現在も収束が見えない状況が継続し、景気の先行きについては、不透明な状況が続くと思われまます。

当社グループ業績に影響が大きい半導体製造装置業界は、5G関連やデータセンター向けに需要拡大が続いており、世界的な経済活動停滞の影響を受けながらも、第3四半期以降の設備投資に大幅な回復が見られました。

その他、FPD製造装置業界はテレビやパソコン向けの需要が堅調で、設備投資に底打ち感が出てきましたが、一方で、航空機業界、自動車業界等は、設備投資が減少した状況が継続しました。

このような状況の中、当社グループは、政府等の要請やお客様の安全等を考慮し、在宅勤務・時差出勤の推進等による新型コロナウイルス感染予防策を継続的に実施しております。

顧客往訪や対面営業が制約を受ける中で、以前より当社が注力してきた24時間365日お見積り・ご注文可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」の利用促進および「リモート営業」ツールの活用により、顧客サービス低下への影響を一定範囲に抑えることができました。

また、「白銅ネットサービス」の取扱商品数を2020年3月末の15,500品目サイズから2021年3月末には、21,200品目サイズへ大幅に拡充し、利便性の向上に努めました。

2019年2月に連結子会社化した株式会社AQRは、商品の品揃えや在庫管理などで当社グループのリソースを活用し、販売力強化と経費削減を実現しました。当社の充実したサービスを株式会社AQRの顧客へ提供することにより、当社グループの事業拡大に繋げてまいります。

海外事業においては、ベトナム国における代理店として関係を強化してまいりました現地大手非鉄金属商社のOristar Corporationの事業拡大にともなう増資について、2020年6月に約4億円の出資を完了しました。

以上の顧客満足度の向上および事業規模拡大等の施策を着実に実行いたしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等による製造業全般の設備投資減少の影響を受け、売上高は、前連結会計年度比で減少となりました。

② 営業利益

営業利益は、前連結会計年度比19.5%増加し、19億8千1百万円となりました。

営業利益の主な増加要因は、経費削減による売上原価の減少及び、原材料市況の影響によるもので、前連結会計年度の商品在庫に係わる相場差損は1億7千万円でしたが、当連結会計年度の商品在庫に係わる相場差益は4千3百万円でした。

原材料市況の影響額を除いた営業利益は、前連結会計年度比で5.9%増加し、19億3千8百万円となりました。

③ 経常利益

経常利益は、営業利益の増加により前連結会計年度比22.8%増加し、20億8千3百万円となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度比11.6%増加し、12億8千1百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりとなります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

セグメント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
日本	37,344百万円	1,941百万円	2,021百万円	1,234百万円
中国	1,363百万円	21百万円	40百万円	29百万円
その他	511百万円	19百万円	20百万円	17百万円

④ 当社を取り巻く環境

原材料市況は、電気銅建値がトン当たり2020年3月末の58万円から2021年3月末には103万円に、アルミニウム地金（日本経済新聞月別平均値）はトン当たり2020年3月末の22万4千円から2021年3月末には29万4千円に、ステンレス鋼板（鉄鋼新聞月別中心値）はトン当たり2020年3月末の37万円から2021年3月末には38万円に、いずれも上昇しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、331億1千5百万円と、対前連結会計年度末比で10億4千4百万円増加しました。

流動資産は、248億5千1百万円と、対前連結会計年度末比で11億5千5百万円増加しました。増加額内訳は、現金及び預金9億5千5百万円、電子記録債権2億5千万円等です。減少額内訳は、商品及び製品1億1千9百万円です。

固定資産は、82億6千4百万円と、対前連結会計年度末比で1億1千1百万円減少しました。減少額内訳は、有形固定資産2億3千7百万円等です。増加額内訳は、投資その他の資産1億3千6百万円です。

(負債)

負債合計は、152億4千5百万円と、対前連結会計年度末比で2億5千5百万円増加しました。

流動負債は、151億8千9百万円と、対前連結会計年度末比で2億4千4百万円増加しました。増加額内訳は、電子記録債務5億9千9百万円、未払法人税等2億5千9百万円、その他2億6百万円等です。減少額内訳は、支払手形及び買掛金9億7千6百万円です。

固定負債は、5千5百万円と、対前連結会計年度末比で1千1百万円増加しました。増加額内訳は、その他8百万円等です。

(純資産)

純資産は、178億6千9百万円と、対前連結会計年度末比で7億8千8百万円増加しました。増加額内訳は、利益剰余金6億2千3百万円等です。

自己資本比率は、前連結会計年度末の53.3%から54.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ、9億5千5百万円増加し、59億2千4百万円となりました。その内訳は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、21億2千7百万円の資金の増加(前年同期は15億3百万円の資金の増加)となりました。

増加額内訳は、税金等調整前当期純利益18億8千6百万円、減価償却費8億3千5百万円、その他の流動負債の増加1億7千3百万円、たな卸資産の減少1億3千9百万円等です。減少額内訳は、法人税等の支払額4億3千9百万円、仕入債務の減少3億8千6百万円、売上債権の増加2億8千7百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億5千2百万円の資金の減少(前年同期は13億6千7百万円の資金の減少)となりました。

減少額内訳は、有形固定資産の取得による支出4億4千1百万円、無形固定資産の取得による支出1億1千万円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億5千7百万円の資金の減少(前年同期は12億3千万円の資金の減少)となりました。

減少額内訳は、配当金の支払6億5千7百万円等です。

当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	51.7	47.6	50.4	53.3	54.0
時価ベースの 自己資本比率 (%)	68.6	73.7	52.4	45.5	61.0
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	0.2	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	759.7	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としておりますが、キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）は2017年3月期～2018年3月期および2020年3月期～2021年3月期においては、利子を支払っている負債がないので、記載が「—」になっております。インタレスト・カバレッジ・レシオは、2017年3月期～2019年3月期および2021年3月期においては、利子を支払っている負債がないので、記載が「—」になっております。

※キャッシュ・フローおよび利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する懸念があることから、見通しが困難なため、今後変更する可能性があります。

以上の点も織り込み、翌連結会計年度の業績見通しは、売上高は480億円（当連結会計年度比22.4%増）、営業利益は29億2千万円（当連結会計年度比47.3%増）、経常利益は30億円（当連結会計年度比44.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は20億7千万円（当連結会計年度比61.5%増）を予想しております。

なお、原材料市況の長期的な予測は困難であるため、相場差損益の利益に対する影響額は第2四半期連結累計期間までの予想を織り込んでおり、第3四半期以降はその影響を織り込んでおりません。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、財務体質の強化と業績に裏付けられた成果の配分を実施することを基本方針としております。

当期の期末配当金は、この基本方針に基づき1株につき普通配当58円とすることを決定いたしました。

次期の配当金は1株につき中間配当金36円、期末配当金46円（普通配当37円、創業90周年記念配当9円）、合計82円を予定いたしております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当社（白銅株式会社）と連結子会社の株式会社AQR、上海白銅精密材料有限公司および Hakudo(Thailand)Co., Ltd. によって構成されております。

海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後のIFRS適用については、国内の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,968,512	5,924,026
受取手形及び売掛金	10,779,824	10,847,040
電子記録債権	1,753,356	2,003,717
商品及び製品	6,054,518	5,934,987
原材料及び貯蔵品	22,543	25,847
その他	137,513	140,115
貸倒引当金	△20,939	△24,587
流動資産合計	23,695,329	24,851,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,636,388	7,673,425
減価償却累計額	△5,804,263	△5,955,979
建物及び構築物(純額)	1,832,125	1,717,445
機械装置及び運搬具	7,035,209	7,348,555
減価償却累計額	△4,287,326	△4,758,804
機械装置及び運搬具(純額)	2,747,882	2,589,750
土地	1,903,901	1,899,876
その他	620,599	708,154
減価償却累計額	△496,150	△544,800
その他(純額)	124,449	163,353
有形固定資産合計	6,608,359	6,370,426
無形固定資産	412,431	402,158
投資その他の資産		
投資有価証券	367,500	907,682
繰延税金資産	337,549	399,095
退職給付に係る資産	52,823	—
その他	597,105	184,930
投資その他の資産合計	1,354,979	1,491,708
固定資産合計	8,375,771	8,264,293
資産合計	32,071,100	33,115,440

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,773,693	5,797,401
電子記録債務	6,736,223	7,335,415
未払費用	701,991	749,209
未払法人税等	210,227	469,473
賞与引当金	274,199	371,626
役員賞与引当金	37,000	48,000
その他	212,284	418,551
流動負債合計	14,945,619	15,189,677
固定負債		
繰延税金負債	172	283
長期預り保証金	14,650	16,150
退職給付に係る負債	13,228	14,803
その他	16,065	24,652
固定負債合計	44,115	55,889
負債合計	14,989,735	15,245,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	15,354,048	15,978,014
自己株式	△1,531	△1,588
株主資本合計	16,973,914	17,597,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,959	134,942
為替換算調整勘定	47,490	137,105
その他の包括利益累計額合計	107,449	272,048
非支配株主持分	0	0
純資産合計	17,081,364	17,869,873
負債純資産合計	32,071,100	33,115,440

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	41,798,104	39,219,464
売上原価	35,309,034	32,549,342
売上総利益	6,489,070	6,670,122
販売費及び一般管理費	4,830,070	4,688,170
営業利益	1,658,999	1,981,951
営業外収益		
受取利息	8,431	6,760
受取配当金	9,737	7,650
不動産賃貸料	84,873	85,599
その他	27,579	25,970
営業外収益合計	130,622	125,980
営業外費用		
不動産賃貸費用	36,413	16,179
支払手数料	500	499
為替差損	27,688	—
固定資産処分損	9,967	4,992
ゴルフ会員権評価損	6,780	—
その他	11,096	2,788
営業外費用合計	92,446	24,460
経常利益	1,697,174	2,083,471
特別損失		
退職給付費用	—	196,732
特別損失合計	—	196,732
税金等調整前当期純利益	1,697,174	1,886,738
法人税、住民税及び事業税	567,801	692,827
法人税等調整額	△19,199	△87,889
法人税等合計	548,601	604,938
当期純利益	1,148,572	1,281,800
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,148,572	1,281,800

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,148,572	1,281,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,376	74,983
為替換算調整勘定	△60,740	89,615
その他の包括利益合計	△122,117	164,598
包括利益	1,026,455	1,446,399
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,026,455	1,446,399
非支配株主に係る包括利益	0	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	15,078,809	△1,460	16,698,746
当期変動額					
剰余金の配当			△873,334		△873,334
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,148,572		1,148,572
自己株式の取得				△70	△70
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	275,238	△70	275,167
当期末残高	1,000,000	621,397	15,354,048	△1,531	16,973,914

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	121,336	108,231	229,567	0	16,928,314
当期変動額					
剰余金の配当					△873,334
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,148,572
自己株式の取得					△70
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△61,376	△60,740	△122,117	0	△122,117
当期変動額合計	△61,376	△60,740	△122,117	0	153,049
当期末残高	59,959	47,490	107,449	0	17,081,364

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	15,354,048	△1,531	16,973,914
当期変動額					
剰余金の配当			△657,833		△657,833
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,281,800		1,281,800
自己株式の取得				△57	△57
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	623,966	△57	623,909
当期末残高	1,000,000	621,397	15,978,014	△1,588	17,597,823

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	59,959	47,490	107,449	0	17,081,364
当期変動額					
剰余金の配当					△657,833
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,281,800
自己株式の取得					△57
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	74,983	89,615	164,598	0	164,598
当期変動額合計	74,983	89,615	164,598	0	788,508
当期末残高	134,942	137,105	272,048	0	17,869,873

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,697,174	1,886,738
減価償却費	892,148	835,534
のれん償却額	25,000	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△759	2,153
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,572	96,726
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,000	11,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,448	1,631
受取利息及び受取配当金	△11,444	△14,410
有形固定資産売却損益 (△は益)	9,967	1,467
売上債権の増減額 (△は増加)	779,960	△287,773
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△225,888	139,733
仕入債務の増減額 (△は減少)	△916,870	△386,998
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	64,799	173,118
その他	△39,982	94,293
小計	2,209,084	2,553,215
利息及び配当金の受取額	11,444	14,410
利息の支払額	△1,978	—
法人税等の支払額	△715,347	△439,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,503,203	2,127,751
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△820,010	△441,081
有形固定資産の売却による収入	13,121	9,312
無形固定資産の取得による支出	△104,702	△110,976
投資有価証券の取得による支出	△8,341	△9,488
事業譲受による支出	△25,000	—
その他の支出	△428,866	△2,836
その他の収入	6,638	2,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,367,160	△552,997
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△873,183	△657,367
長期借入金の返済による支出	△357,196	—
自己株式の取得による支出	△70	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,230,451	△657,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,727	38,185
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,119,135	955,513
現金及び現金同等物の期首残高	6,087,648	4,968,512
現金及び現金同等物の期末残高	※1 4,968,512	※1 5,924,026

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていました「その他の流動負債の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた24,817千円は、「その他の流動負債の増減額」64,799千円、「その他」△39,982千円として組み替えております。

(追加情報)

(確定給付企業年金制度の終了について)

当社は、従業員の退職給付に充てるため、確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度を併用しておりましたが、2021年3月31日より、確定給付企業年金制度を廃止し確定拠出年金制度へ移行しております。これに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 2016年12月16日改正)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 2007年2月7日改正)を適用し、確定拠出年金制度への移行部分について、退職給付制度終了の処理を行っております。

これにより、当連結会計年度において、退職給付費用196,732千円を特別損失に計上しております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の経過により影響が変化した場合には上記の見積りの結果に影響し、翌連結会計年度以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
現金及び預金勘定	4,968,512千円	5,924,026千円
現金及び現金同等物	4,968,512	5,924,026

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、金属事業の単一事業であり、国内においては当社および株式会社AQRが、中国においては上海白銅精密材料有限公司が担当しております。各会社はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則および手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、親会社株主に帰属する当期純利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	40,068,757	1,132,098	41,200,855	597,249	41,798,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	577,812	-	577,812	-	577,812
計	40,646,569	1,132,098	41,778,667	597,249	42,375,916
セグメント利益又は損失(△)	1,158,216	△22,539	1,135,677	19,339	1,155,017
セグメント資産	32,191,695	1,262,740	33,454,435	373,769	33,828,205
セグメント負債	15,139,784	182,831	15,322,616	120,251	15,442,867
その他の項目					
減価償却費	869,500	21,122	890,623	1,525	892,148
のれん償却額	25,000	-	25,000	-	25,000
税金費用 (法人税等及び法人税等調整額)	553,617	△5,135	548,482	6,905	555,387
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	700,899	3,900	704,799	756	705,556

(注) 「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,344,583	1,363,630	38,708,213	511,250	39,219,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	456,270	-	456,270	-	456,270
計	37,800,854	1,363,630	39,164,484	511,250	39,675,735
セグメント利益又は損失(△)	1,236,431	29,751	1,266,182	17,625	1,283,808
セグメント資産	32,939,239	1,459,993	34,399,232	342,294	34,741,527
セグメント負債	15,234,832	232,679	15,467,511	79,228	15,546,740
その他の項目					
減価償却費	813,014	21,059	834,073	1,460	835,534
のれん償却額	-	-	-	-	-
税金費用 (法人税等及び法人税等調整額)	591,328	10,510	601,839	4,487	606,326
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	575,222	13,448	588,671	2,671	591,342

(注) 「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	41,778,667	39,164,484
その他	597,249	511,250
セグメント間取引消去	△577,812	△456,270
連結損益計算書の売上高	41,798,104	39,219,464

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,135,677	1,266,182
その他	19,339	17,625
セグメント間取引消去	△6,444	△2,007
連結損益計算書の親会社株主に帰属する 当期純利益	1,148,572	1,281,800

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	33,454,435	34,399,232
その他	373,769	342,294
セグメント間取引消去	△1,757,104	△1,626,087
連結貸借対照表の資産合計	32,071,100	33,115,440

(単位：千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	15,322,616	15,467,511
その他	120,251	79,228
セグメント間取引消去	△453,131	△301,172
連結貸借対照表の負債合計	14,989,735	15,245,567

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
税金費用	548,482	601,839	6,905	4,487	△6,786	△1,388	548,601	604,938

(関連情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	日本	中国	計		
当期償却額	25,000	—	25,000	—	25,000
当期末残高	—	—	—	—	—

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産	1,506.03円	1,575.56円
1株当たり当期純利益	101.27円	113.01円

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,148,572	1,281,800
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益(千円)	1,148,572	1,281,800
期中平均株式数(株)	11,341,994	11,341,951

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

(2) 取締役の変動

該当事項はありません。